

大施策評価書

作成日 令和 4年 11月 25日

めざすまちの姿	01 子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVなどがない		
大施策	子ども高齢者障がい者等への虐待やDV等を減らす		
大施策を構成する中施策	・ 家族等、子ども、高齢者、障がい者等を支援する人の日常生活に関する悩みや不安を解消する ・ 市民の知識と自覚を高め、早期発見への協力を促進する ・ 関係機関と連携して早期発見と素早い対応に努める		
主担当部長	健康福祉部長（中村 泰正）	主担当課	子育て支援課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	虐待やDVなどが起こらないように見守る地域のネットワークができていていると思っている市民の割合	%	23.1	30.1	27.5	33.1	35.3	49.5	○
2	虐待、DVの件数（相談件数）	件	1,685	1,640	1,606	1,951	1,780	1,909	◎
3	虐待、DVの件数（認定件数）	件	59	50	65	84	42	29	▲
4	虐待やDVなどに遭遇したときにためらいなく通報できと思っている市民の割合	%	58.3	58.3	60.4	59.9	69	79.3	○
5	まわりに助けを求めることができる人がいる子どもの割合	%	85.7	85.2	82.4	84.9	90.7	94.1	▲
6	まわりに助けを求めることができる人がいる高齢者の割合	%	59.7	62.8	58.3	61.6	68	75.6	○
7	まわりに助けを求めることができる人がいる障がい者の割合	%	70.9	74.5	72.6	77.7	78.9	85.3	○

■総合評価

総合評価	B	虐待、DVの課題抽出段階である相談件数や市が把握できたことによる認定件数が増えていることは、コロナによる影響もあるが、虐待やDV、虐待予防の意識が広がったことと、早期に把握できる体制が構築されているという見方もできる。アンケートからも周りに助けを求める人がいる割合も高まっているので、引き続き早期に対応できる体制を維持し、関係機関と連携を図ることが重要と考える。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 24日

めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している		
大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する		
大施策を構成する中施策	・ 多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる ・ 多様な主体者の情報交換をする機会や場をつくり、連携に努める ・ 市民が安心できる地域の医療・福祉をつくる民間の活動を支援する		
主担当部長	健康福祉部長（中村 泰正）	主担当課	長寿課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	医療や福祉施設、制度の利用者の満足度	%	49.6	63.9	64.7	62.5	58.9	67.7	○
2	利用できる医療施設、福祉施設の数 ※	施設	143	169	169	176	153	173	◎
3	医療や福祉分野における連携プロジェクトの数（具体的な事業数のため運営協議会等は除く）	事業	2	4	4	6	6	11	○
4									
5									
6									
7									

※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。

■総合評価

総合評価	B	本市では高齢者の地域包括ケア、公的保険外サービスを活用した介護予防、健康づくり等、医療機関、民間企業、地域人材等と連携しながら全国的にも先進的な取組みを進めており、各まちづくり指標も順調に推移している。 しかし、高齢化により将来的には医療費や介護給付費の増大が見込まれており、医療、介護、保健、福祉の連携のもと、多様な主体者による更なるきめ細やかな取り組みが求められている。定期健診の受診率向上による医療費の抑制、地域での支え合い、助け合い、行政や関係機関との連携を深め、地域ぐるみでの対応が重要となってくる。また、重層的支援体制を整備し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進する必要がある。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 24日

めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない		
大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる		
大施策を構成する中施策	・ 明るく死角が少ない街をつくる ・ 市民の防犯意識の向上を図る ・ 地域の自発的な防犯活動を推進する		
主担当部長	市民生活部長（宇佐見 恭裕）	主担当課	防災防犯対策課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	自主防犯ボランティア団体の登録数	団体	61	66	67	70	71	81	○
2	犯罪発生件数 ※	件	833	360	282	256	712	302	◎
3	この1年で、市内で怖い思いをしたことのある市民の割合	%	6	5.1	5	6.1	4.6	3.4	▲
4									
5									
6									
7									

※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。

■総合評価

総合評価	A	防犯カメラの設置や防犯灯のLED化、地域安全監視員や地域の自主防犯ボランティアによる青色回転灯パトロールカーによる巡回活動など、犯罪抑止対策に積極的に取り組み、市民への意識向上を図った結果、犯罪発生件数はめざそう値を達成し、順調に推移している。また、高齢者を狙った特殊詐欺被害の軽減策として特殊詐欺対策電話機設置補助を実施し、引き続き注意喚起を促す必要がある。 防犯上の課題となる空家対策においては、空家の所有者から意向を調査し、新たな空家発生の抑止と適正管理の依頼を実施することができた。引き続き、宅建協会と協力し、空家の近隣住民とのトラブル解決や空家の利活用を進めていく。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 11月 21日

めざすまちの姿	04 いじめや自殺、引きこもりがない		
大施策	子どものいじめや自殺、引きこもりを減らす		
大施策を構成する中施策	・児童生徒へのきめ細やかな指導や支援ができる体制をつくる ・行政・学校が早期発見・早期対応の仕組みを整え、適切な対応をする ・家庭・地域・関係諸機関からの情報を集約し、早期発見・早期対応を促進する		
主担当部長	教育部長（藤井 和久）	主担当課	学校教育課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	学校以外の習い事やグループで友達ができた子どもの割合	%	83.2	85.2	77.7	76.9	86.7	90.1	▲
2	不登校の子どもの数	人	87	81	95	132	66	49	▲
3	学校でのいじめ件数	件	85	61	59	45	63	48	◎
4	市内の自殺者数	人	12	12	8	8	8	5	○
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	いじめの認知件数と自殺者の数は減少傾向にある一方で、不登校の児童生徒数は大幅に増加している。不登校の原因は一人一人異なっており、思春期を迎える多感な時期に差し掛かることもあり、思うようには進展していない。しかし時間は掛かったとしても、それぞれの個人に寄り添った丁寧な対応をする必要がある。学校への登校にこだわるのではなく、児童生徒の個性を尊重し、学校以外のフレンドひまわりやフリースクールも含めて重層的な支援を行い、子どもたちの居場所となりえる場所を見つけることが、解決への糸口に繋がること意識し、継続して対応をしていきたい。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 12月 1日

めざすまちの姿	05 子どもが良いことと悪いことの区別ができる		
大施策	善悪の区別ができる子どもを育てる		
大施策を構成する中施策	・ 家庭・地域全体で子どものしつけができる環境をつくる ・ 子どもが学校生活で善悪を理解できるようにする ・ 安心安全なメディアの使い方を学ぶ環境をつくる		
主担当部長	教育部長（藤井 和久）	主担当課	生涯学習課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	よその子どもを褒めたり注意したりできる市民の割合	%	53.7	49.8	51.6	49	63.3	71.8	▲
2	良いことと悪いことの区別ができていると思う子どもの割合	%	79.8	83	82.6	81.7	84.9	89	○
3	親子のコミュニケーションがとれていると思う保護者の割合	%	91.1	92.5	94.9	95.2	94.4	96.3	○
4	親子のコミュニケーションがとれていると思う子どもの割合	%	87.9	83.2	82.4	85.3	91.3	93.8	▲
5	悪いことをしている友達などを見たときに注意できる子どもの割合	%	54.6	62.3	58.7	63.1	64.3	72.2	○
6	子どもの補導件数 ※	件	742	150	193	356	591	120	○
7									

※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。

■総合評価

総合評価	B	社会情勢の変化や核家族化に加えて、コロナ禍により地域で子どもを見守ることが難しくなっている。子どもたちの放課後の居場所づくりとして、児童クラブや放課後子ども教室、セーフティプラスワンの整備が進み、安全安心な地域環境が構築されてきている。今後も、できる限り学校内で活動ができるように、関係者への働きかけや環境整備を進めていく。ICT教育が進みつつあっても、自らが考え、主体的に取り組む対話型の協同の学び事業についても、公開授業を通して、スキルアップにつながるような取り組みが全校で継続して行われており、今後も成果が出ることに期待したい。子どもの補導件数は令和2年度に比べて増加している一方で、犯罪発生件数（めざすまちの姿3のまちづくり指標2）を抑制している側面もある。今後の動向を注視する必要がある。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 11月 17日

めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		
大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる		
大施策を構成する中施策	・人々のマナーの向上を図る ・ごみを捨てにくい環境をつくる ・地域に根ざした美化活動を推進する		
主担当部長	市民生活部長（宇佐見 恭裕）	主担当課	市民協働課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	まちがきれいだと感じている市民の割合	%	59.3	68.7	68.3	67.5	67.1	75.2	○
2	アダプトプログラム（公園、道路、河川等の清掃美化ボランティア活動）参加者に配布したゴミ袋の枚数／年間	枚	1,150	1,110	1,200	1,570	1,349	1,560	◎
3	積極的に清掃活動に参加している市民の割合	%	43.6	41.2	40.5	37.4	52.7	62	▲
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	コロナ禍により集団での地域活動は自粛・抑制的な期間が長期間となったため、積極的に清掃活動に参加している市民の割合は減少傾向である。しかし、クリーン月間の地域清掃活動なども再開され、今後は清掃活動への参加意識は回復すると見込んでいる。ごみの落ちていない、きれいな街や公園を維持するために、アダプトプログラムによる清掃ボランティア、公園等の花壇の花の管理を行うフラワーボランティア、更には長年にわたって道路の清掃を続けている市民の方などの協力によって気持ちの良い公共空間の提供に寄与いただいております。地域住民の皆様の協力は今後も不可欠となる。自治会組織の維持継承、ボランティア活動の後方支援の更なる充実を図る。一方で、ごみのポイ捨て禁止やごみの持ち帰りに協力いただく啓発を継続し、公共空間の美化に努めます。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 11月 21日

めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる		
大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる		
大施策を構成する中施策	・ 利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する ・ 交通ルールの理解と遵守を促進する		
主担当部長	経済建設部長（伊藤 正弘）	主担当課	土木課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	交通マナーが良くなったと思う市民の割合	%	39.1	47.8	47.6	47.6	49	58.9	○
2	安全に通行するための適切な交通規制や対策があると思う市民の割合	%	39.1	46.9	50.9	49.8	48.1	57.8	○
3	道路がスムーズに走れると感じる市民の割合	%	40.1	43.4	39.9	35.3	50.3	60.1	▲
4	交通事故発生件数（歩行者・自転車・自動車）	件	403	274	197	194	329	265	◎
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	関連のまちづくり指標は概ね順調に推移しており、全ての利用者にとって安全安心な道路環境の確保・維持を目指し、安全点検、整備促進、維持管理を進めることができている。 道路等のインフラは老朽化が進んでいるため、区長要望工事において事業規模の拡充を図ることができた。一定の事業規模を確保しつつ優先順位を図りながら地域要望への対応を着実に進めていく。 また、唯一指標の結果が下がっている「道路がスムーズに走れると感じる市民の割合」については、一部道路の渋滞については利用者に負担をかけているが右折帯の増設や道路ネットワークの整備促進による解消など総合的な対策を推進していく。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 12月 1日

めざすまちの姿	08 交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している		
大施策	交通の利便性を高め、移住を促し、通勤・通学しやすくなるようにする		
大施策を構成する中施策	・公共交通の利便性を良くする ・市内外の移動がしやすくなるように、道路交通網を整備する		
主担当部長	経済建設部長（伊藤 正弘）	主担当課	都市計画課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	交通アクセスが良くなったと思う市民の割合	%	59.3	63.8	63.8	65.1	66.7	73.2	○
2	豊明3駅の年間利用者数	千人	11,930	13,268	10,038	10,582	12,933	14,006	▲
3	転入者数／年間	人	3,327	3,715	3,145	2,929	3,636	3,959	▲
4	転出者数／年間	人	3,281	3,485	3,296	3,351	2,996	2,793	▲
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	市全体かつ広域の都市計画の上で都市の暮らしやすさとしての持続可能性を確保するため、コンパクト＋ネットワークを基本方針として取組みを進めている。その中で、交通は地域特性を捉え将来を見据えた暮らし続けられるための変化と備えが求められている。コロナ禍の影響を受けつつも、暮らしを支え、都市の魅力を高める観点からこの方針に基づいた具体的な取組みを着手展開できている。一方で、まちづくり指標のうち3指標の実績は低調であることから検証を重ねながらさらに成果を導いていく。 また、人口減少傾向がみられるため、市街地開発やその他関連施策を引き続き着実に進めていく。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 20日

めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
大施策	きれいな空気を保全する		
大施策を構成する中施策	・ 排気ガスの排出量を抑制する ・ 市内の大気汚染や悪臭の問題を少なくする ・ エコライフを促進する ・ 緑の多い生活環境をつくる		
主担当部長	経済建設部長（伊藤 正弘）	主担当課	環境課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	空気がきれいだと感じている市民の割合	%	71.8	77.2	73.9	75.7	76.6	81.3	○
2	一人当たりの公園・緑地面積	m ²	9.4	9.8	11.1	11.2	9.9	10.4	◎
3	大気中の汚染物質の基準値に対する豊明市の数値（二酸化窒素）	ppm	0.012	0.010	0.009	0.009	0.011	0.009	◎
4	大気中の汚染物質の基準値に対する豊明市の数値（浮遊粒子状物）	mg/m ³	0.020	0.017	0.016	0.015	0.017	0.015	◎
5	大気中の汚染物質の基準値に対する豊明市の数値（光化学オキシダント）	ppm	0.030	0.034	0.034	0.035	0.026	0.023	▲
6	再生可能エネルギーを利用したいと思う市民の割合	%	65.9	64.7	67.1	69.8	72.1	78.8	○
7									

■総合評価

総合評価	A	関連のまちづくり指標は概ね順調に推移しているため、引き続き公害対策監視活動を継続しつつ気候変動影響の観点からの温暖化対策を一層進めていく。 市内の再生エネルギー売電量は拡大しており温暖化物質排出抑制は進んでいる。その率先行動たる水面設置の市直営太陽光発電も継続的安定的な運営ができており、地域循環共生圏の構築に貢献できている。市民の行動や意識啓発により環境負荷低減を進めることがより重要となることから、事業所としての率先行動たるエコアクションプランについても検証しながら市としての行動を重ねていく。緑化推進は公園の維持管理や再生を通じて取組み、緑被の連続性や拡大を進めていく。街路樹も同様に維持管理に努めていく。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 20日

めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
大施策を構成する中施策	・ 市民とともに緑が続く環境をつくる ・ 日常生活の中で自然を実感できる環境をつくる ・ 生活利便性の高い街をつくる		
主担当部長	経済建設部長（伊藤 正弘）	主担当課	市街地整備課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	買い物や窓口行政サービスが便利になったと感じている市民の割合	%	57.4	59.1	62.7	61	65.1	72.6	○
2	市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合	%	59.3	62.1	65.1	64.7	66.5	73	○
3	身近に自然に親しむことができる場所があると思う市民の割合	%	62.2	67.4	67.9	68.6	68.4	74.6	○
4	市街化区域内人口の割合	%	74.7	75.3	75.5	76.8	76.8	78.7	○
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	A	生きものや緑を感じながら暮らせる空間として公園の維持管理、再生を通じて都市の魅力化を図っている。公園と墓地は包括管理の指定管理者制度を導入することで、より利用者に喜んでいただけるようサービス向上を目指した運用を開始することができた。暮らしやすいコンパクトシティ形成は、都市構造再編集集中支援事業として前後駅北側から藤田医科大方面にかけての間米南部地区や市域中心部の県道57号沿いに位置する寺池地区との二つの住居系市街地整備事業を進展させており、ここにおいても核となる緑を感じながらの暮らしやすい空間形成を進めている。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 18日

めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
大施策を構成する中施策	・ 誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる ・ 市民の体調や基礎体力を整えるための活動を支援する ・ 一緒に運動を楽しむ仲間を増やし、リーダーを育成する		
主担当部長	健康福祉部長（中村 泰正）	主担当課	健康推進課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	スポーツをするために必要な情報が得られている市民の割合	%	30.4	39.8	38.5	37.1	44.8	58.7	○
2	スポーツを教えてくれる人がいると思う市民の割合	%	24.6	31.3	27.6	26.6	35.6	46.4	○
3	スポーツを楽しむことができる市民の割合	%	37.1	36.8	35.7	37.6	47.7	58.9	○
4	医療機関にかかっていない市民の割合	%	15.2	14.5	17.6	16.8	21.8	29.2	○
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	コロナウイルス感染拡大の影響や、体育施設の老朽化や指導者の育成など課題もある中、まちづくり指標にあるスポーツを楽しむことができる市民の割合は改善傾向にある。 引き続きハード面だけでなく、スポーツをする機会を創出していくことが重要であると考えている。 また、とよあけ健康21計画に基づき、生活習慣、食習慣の改善とあわせて、運動習慣を身につけ、健康維持につなげていく。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 20日

めざすまちの姿	12 元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができる		
大施策	元気な高齢者の姿を見て、若い世代が老後に夢を持てるまちをつくる		
大施策を構成する中施策	・ 高齢者が趣味や仕事などさまざまな場面でいきいきと活躍できるよう支援する ・ 高齢者が孤立せず安心して生活できる環境をつくる ・ 若い世代が元気な高齢者と身近に交流し、良いところを知る機会や場をつくる		
主担当部長	健康福祉部長（中村 泰正）	主担当課	長寿課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	近所の高齢者がいきいきしていると思っている市民の割合	%	54.9	63.5	63.3	61.9	63.7	71.4	○
2	人生が楽しいと感じている高齢者の割合（65歳以上）	%	75.2	74.6	72	72	80.6	85.7	▲
3	老後の生き方に夢があると思っている若者の割合（50代以下）	%	18.4	23.1	26	27.8	29.1	40.3	○
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により事業を一定期間休止したことで運動する機会が減ってしまったことなどが、人生が楽しいと感じている高齢者の割合が減少傾向となっている要因として考えられる。 一方で、老後の生き方に夢があると感じている若者の割合は少しずつ向上はしている。 今後は、今年度新たな活動交流拠点として共生交流プラザ「カラット」がオープンし、高齢者の健康づくりや生きがいつくりの場や多世代での交流の機会が増えるため、さらに社会参加を促すことで、高齢化に伴う要介護率の上昇を抑え、高齢者が楽しく、生き生きと過ごせるよう健康寿命の延伸につなげていくことが重要と考える。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 11月 21日

めざすまちの姿	13 教育や子どもに関する予算が確保され、教育環境がよい		
大施策	教育や子どもに関する予算を確保し、教育環境を整える		
大施策を構成する中施策	・学校の施設・設備を充実する ・学校以外の教育施設・設備を充実する		
主担当部長	教育部長（藤井 和久）	主担当課	学校教育課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	子どもにとって必要な教育環境が整っていると思う市民の割合	%	44.3	55.3	56.9	54.9	55.3	64.8	○
2	子どもにとって必要なところに予算配分がされていると思う教育関係者の割合	%	13.1	36.2	49	49.5	25.4	38.7	◎
3	歳出の内、教育や子どもための予算の割合 ※	%	19.5	24.3	25.2	24	21	23.2	◎
4									
5									
6									
7									

※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。

■総合評価

総合評価	A	ここ数年の間に、タブレットの全児童生徒への配布、トイレの洋式化、教室へのエアコンの設置など教育関連の環境面の整備だけでなく、小学校での全学年少人数クラスの実施や、外国籍児童増加に伴う日本語指導専門員の配置など、ハードとソフト、あらゆる方面に多額の予算を確保してきた。その結果、まちづくり指標も良好な結果となっている。今後もICT教育の推進や施設長寿命化に合わせた学校環境の整備など、必要な予算を確保し、子どもたちの学習環境をより一層充実させていく。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 24日

めざすまちの姿	14 子どもがずっと育ってきた豊明を大好きでいる		
大施策	子どもがずっと育ってきたとよあけを大好きになる環境をつくる		
大施策を構成する中施策	・子ども同士や大人との出会いの機会や場を増やす ・子どもの頃から好きな場所や思い出に残る機会を増やす ・家族や地域の人がとよあけを好きになる風土を醸成する		
主担当部長	教育部長（藤井 和久）	主担当課	生涯学習課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	自然が大切にされていると 思っている市民の割合	%	64.8	71.3	71.3	73	70.7	76.9	○
2	豊明を自慢できる市民の割合	%	39.3	45.4	46.9	48.4	49.3	59.1	○
3	ふるさと納税の件数と金額 ※	件	2	1,383	1,885	1,368	6,000	3,000	○
4	ふるさと納税の件数と金額 ※	千円	12	24,340	24,559	19,668	60,000	43,000	○
5									
6									
7									

※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。

■総合評価

総合評価	B	長期間にわたるコロナ禍の影響により、各種行事やイベント、さらには家族間での旅行など、多くのふれあいの機会が制約されてきた。こうした影響もあり、まちづくり指標のめざそう値に対する達成度は、低調となっている。コロナ禍が落ち着きを見せ始めている中で、様々なイベントが再開されだした。子どもたちが、自分たちの住んでいるまちに対して、愛着を持つことができるよう、参加して楽しさが実感できる各種イベントの定期的な実施や、残された自然や資産のPRを図る必要がある。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 11月 25日

めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
大施策を構成する中施策	・ サービスや支援を充実し、負担を軽減する ・ 多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
主担当部長	健康福祉部長（中村 泰正）	主担当課	地域福祉課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	1日1回以上家族以外の人と会話をしている市民の割合	%	71.3	64.8	62.9	61.9	78.1	84.9	▲
2	日常の中で困っている人に声掛けができている市民の割合	%	44.3	38.5	36.7	42	53.8	63.4	▲
3	地域から孤立していないと思っている市民の割合	%	75.8	79.7	79.8	79.6	81.6	87	○
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	コロナ禍の影響もあり、家族以外の人との会話や声掛けが難しくなっており、関連指標も低調となっている。一方で、地域から孤立していないと思っている市民の割合は徐々に向上している。おたがいさまセンターちゃっとや地域包括ケアシステム、あいさつ運動の実施等、地域を始めとした多様な主体者との連携や共助の促進の取組の効果が出てきているものと推察する。共生交流プラザ「カラット」を活用し、子どもから高齢者まで多様な市民の方が活動し、つながり、孤立することなく気軽に相談できる拠点としていく。また、市内にはグループホームも開設され、地域での交流を通じて、障害のある方も自立して生活できる環境の整備が進んだ。コロナ禍が続くが、こうした拠点を活用した施策の充実を図り、支えあえる地域づくりを今後も進めていく。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 12月 8日

めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
大施策を構成する中施策	・多様な主体者が連携し、家族を支える環境をつくる ・家族を支援するサービスを充実させる ・身近な地域で助け合える環境をつくる		
主担当部長	健康福祉部長（中村 泰正）	主担当課	地域福祉課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	介護で困ったときに助けを求めることができる友だちや専門機関があると思う家族の割合	%	57	63.6	62.2	61.3	66.1	74.6	○
2	1週間のうち1回は自分の時間をもっている家族の割合	%	69	79.5	70.5	73.5	76.3	83.4	○
3	支援が必要になったときに活用できるサービスを知っている市民の割合	%	40.7	44.3	42.1	42	55.7	69	○
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	各種相談支援体制の強化、支援関係者の調整機能の強化を図ることで、関連指標は概ね順調に推移している。しかしながら、引き続きコロナ禍における失業や収入減、物価高騰などの要因による生活困窮世帯、制度のはざまに困っている高齢者、引きこもり世帯、ひとり親世帯、障がい者のいる世帯など支援を必要としている方が増えている。おたがいさまセンター「ちゃっと」の拠点充実、児童発達支援センターの開設、まごころサポート便の実施、フードギフト時における相談先の紹介、ひとり親世帯への支援、重層的支援体制を整備等、今後も支援を必要とする市民に対して個々の状況に応じた適切な支援を行う。併せて、新たに支援を必要としている人に対しても支援策の案内が十分できるよう広報などで周知を図っていく。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 20日

めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
大施策を構成する中施策	・ 地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境をつくる ・ 子どもが地域に愛着を持てる環境をつくる ・ 地域活動を活発にする		
主担当部長	市民生活部長（宇佐見 恭裕）	主担当課	市民協働課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	地域の活動に参加している子どもの割合	%	72.1	68.4	62.7	54.6	77.7	83.5	▲
2	地域に愛着をもち、地域の活動に参加している大人の割合	%	63.7	71.6	72.4	74	70.7	77.5	○
3	近所で5人以上の大人の名前が言える子どもの割合	%	50.4	41.4	36.6	33.8	60.7	69.5	▲
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	コロナの影響によって、地域の活動は縮小傾向にあり、地域の活動に参加している子どもの割合は大きく減少する結果となった。地域コミュニティも縮小している中、子どもや若者が地域の人達と触れ合い、子どもたちを地域全体で見守り育てる風土の醸成が必要になる。新たな方策として、今年、子育て支援施設や児童福祉施設、子どもたち放課後の居場所となる施設など複合的要素を持ち合わせた施設、共生交流プラザ「カラット」がオープンした。それ以外にも趣味的な講座の開催や国際交流支援など多くの世代の皆さんに活用いただける施設となっている。施設を利用する皆さんや団体が、それぞれの持ち味を生かして交流を深め、つながることで地域での活動にも波及効果が期待できる。カラットを活用し地域活動を活性化できる人材の育成が必要になる。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 12月 1日

めざすまちの姿	18 災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている		
大施策	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村と連携する		
大施策を構成する中施策	・ 普段から各機関との連絡調整がとれる体制をつくる ・ 関係機関と連携について実効性の高い協定を結ぶ ・ 行動計画に基づく連携についての訓練を実施する		
主担当部長	市民生活部長（宇佐見 恭裕）	主担当課	防災防犯対策課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	一年間に防災訓練に参加した団体の数	団体	30	47	24	27	45	58	▲
2	他自治体及び民間との災害に関する協定の数 ※	件	48	64	74	76	55	74	◎
3	災害時に備えて行政・民間の情報共有ができていると思う市民の割合	%	31.5	36.2	35.4	35.2	44.9	57.1	○
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	他の自治体や民間との災害に対する協定の数は目標値を達成しているが、災害時に備えて行政・民間の情報共有ができていると思う市民の割合は低調となっている。災害協定に基づいた災害廃棄物の仮置場設置訓練は県内で唯一実施しているが、市民に十分な周知ができいていないと考えられるため、積極的に取組みについてPRする必要がある。一方で地域で防災に係る中心的な役割の自主防災組織は、人の入れ替わりが多く、リーダーの育成や地域の訓練への支援は最重要事項であり、充実した支援体制が望まれる。コロナの影響で訓練回数は減少する中でコロナ対応を必要とする避難所運営など新たな視点が求められる地域の防災リーダーの皆様には、引き続き、減災へのご尽力と更なる知識や技術の向上をお願いしていく必要がある。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 24日

めざすまちの姿	19 防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる		
大施策	災害に備え、家庭と地域の準備と連携ができ、災害時には自発的に助け合えるよう支援する		
大施策を構成する中施策	・ 災害に備えて家庭での準備を促す ・ 災害に備えて地域での準備を促す ・ 災害に備え家庭と地域の連携を促し、災害時の助け合いの意識を向上させる		
主担当部長	市民生活部長（宇佐見 恭裕）	主担当課	防災防犯対策課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	家庭で防災対策をしている市民の割合（備蓄・避難場所の確認など）	%	57.2	60.8	59.7	59.4	67.8	77.4	○
2	普段から地域で災害時の対応について話し合っている市民の割合	%	28.4	28	28	27.6	41.5	54.6	▲
3	実体験できる講習の回数（応急手当、初期消火など）／年間 ※※	回	344	132	87	24	362	168	▲
4	火災に備えて住宅用火災警報器が設置してある割合	%	71	72.3	73.8	74.2	80.4	89.1	○
5									
6									
7									

※※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。基準値はH31実績値となります。

■総合評価

総合評価	B	自助・共助・公助というフレーズが一定程度浸透し、市民には災害への備えの重要性は認識されてはいるものの、行動につながっていない現状も散見される。まちづくり指標が伸び悩んでいるのは、これまでに台風や豪雨による被害は経験しているものの、大規模な震災は未経験であることも一因ではないかと考えられる。耐震改修の補助金を利用するなど耐震性の無い古い木造住宅は徐々に耐震性を有する住宅に建て替えも進み、家屋の倒壊被害は軽減すると考えられるが、有事の際の避難方法や避難所の考え方も多様化する中で、初動時における自助・共助の重要性を再認識してもらうよう継続的な啓発活動に努める。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 24日

めざすまちの姿	20 行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用している		
大施策	行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用できる支援をする		
大施策を構成する中施策	・ 行政が迅速かつ正確に情報を提供する ・ 地域の情報発信力が高まるように支援する ・ 日ごろから住民同士のコミュニケーションが取れるよう支援し、活用できるような情報共有を促す		
主担当部長	市民生活部長（宇佐見 恭裕）	主担当課	市民協働課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	必要な情報を得るための手段をわかっている市民の割合	%	40.3	45.9	50.1	47.4	52.9	64.3	○
2	この1年間で、地域の人同士で、まちのことについて意見交換した市民の割合	%	19.6	15.3	12.9	9.4	29.2	39.9	▲
3	市長への手紙・Eメールの件数※	件	111	194	256	223	133	227	○
4	行政や地域の情報を得て、イベントや集まりに参加している市民の割合	%	45.8	32.1	19.6	17.4	55.1	63.8	▲
5									
6									
7									

※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。

■総合評価

総合評価	B	コロナの影響でイベントへの参加や意見交換の実績などのまちづくり指標は大きく下がっているが、令和3年度実績を見ると一定程度は回復傾向にあると思われる。情報を発信するだけでは情報過多になり、必要な人に必要な情報が届きにくくなるため、適切な情報量を維持し、効果的に情報を届ける研究を進める必要がある。コロナの影響による事業の中止等で地域コミュニティの維持継続に不安な要素となっているが、令和4年5月には共生交流プラザ「カラット」が行政区を越えた多世代の交流拠点としてオープンし、様々な団体や個人に活用いただいている。新しいコンセプトで運営されているカラットでは様々な団体の交流が深まり、様々な団体からの情報発信の拠点となる施設運用を心掛けていく。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 11月 21日

めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
大施策を構成する中施策	・歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する ・市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる ・新しい文化を醸成する		
主担当部長	教育部長（藤井 和久）	主担当課	生涯学習課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	（この1年で）市外の人に豊明の歴史・伝統・文化の展示会やイベント等を伝えたことのある市民の割合	%	20.5	15.7	12.5	11.9	31.5	41.1	▲
2	高校生・大学生が歴史・伝統・文化を通して人とつながっていると思っている市民の割合	%	12.9	16.6	16.4	19	23	31.6	○
3	自発的に文化を創造できるような環境が豊明にあると思っている市民の割合	%	16.5	19.5	19.5	20.9	24.7	33.6	○
4	豊明の歴史・伝統・文化に誇りをもっている市民の割合	%	45.7	47.7	48.2	49.9	55	64.1	○
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	歴史・伝統・文化活動も、コロナ禍の影響を大きく受け、2年近く活動は止まってしまった。一方で、新たな文化・交流の拠点として、共生交流プラザ「カラット」がオープンし、歴史民俗資料室もリニューアルした。さらに来年には、南部公民館もリニューアルオープンを予定している。2年間の停滞期を取り戻すべく、歴史・文化・伝統事業を可能な限り再開し、地域に誇りを持ち、次世代へ継承するための活動を支援していく。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 24日

めざすまちの姿	22 行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている		
大施策	積極的に市民の意見を吸い上げる		
大施策を構成する中施策	・ 市民の声を聴く組織風土を形成する ・ 子どもから大人まで意見を述べる仕組みや機会を増やす ・ まちを良くするために市民が互いに議論できる環境をつくる		
主担当部長	行政経営部長（小串 真美）	主担当課	企画政策課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	偏らず、広く市民の声を聞く努力をして、必要に応じて事業に反映していると思う職員の割合 ※	%	63.4	85.6	89.3	90.3	71.3	92.6	○
2	年1回は、行政に関心をもって積極的に働きかけている市民の割合	%	3.7	4	3.8	5.1	12.3	21.3	○
3	市民からの意見を吸い上げる制度の実施回数 ※	回	16	25	26	20	21	30	○
4	附属機関等の公募委員の応募倍率	倍	1	0.9	0.97	0.95	1.7	2.3	▲
5									
6									
7									

※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。

■総合評価

総合評価	B	まちづくり指標の一つである、市民の声を聞く努力と、その声を事業に反映させることについて、まちづくりアンケートで一定の成果が確認でき、めざそう値は概ね達成できている。 行政経営の分野の中では、豊明市の役割期待値が21%と低く、めざすまちの姿を真に達成するためには、意見を提出する市民側にも期待値が高い。制度の周知や、意見や提言を提出しやすくするための工夫は引き続き行いながら、政策や事業に対して市民に興味を持っていただく工夫や、必要かつ正確な情報を十分に発信する努力が欠かせない。これにより各委員会への市民公募の増加が期待でき、更に市民の意見を伺う機会の増加に繋げることができる。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 24日

めざすまちの姿	23 世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策となっている		
大施策	世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策を実施する		
大施策を構成する中施策	・多くの市民が公平と感じる施策を実施する ・市民が予算配分を理解できるよう情報を公開し説明する		
主担当部長	行政経営部長（小串 真美）	主担当課	企画政策課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	世代で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市民の割合	%	17.8	32.7	34	31	26.9	37.1	○
2	世代で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う職員の割合 ※	%	58.4	75.4	82	78.6	66.8	79.7	○
3	性別で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市民の割合	%	28.9	44	46.2	42.1	39.2	49.4	○
4	性別で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う職員の割合 ※	%	79.2	90.1	92.7	94.8	84	93.6	◎
5									
6									
7									

※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。

■総合評価

総合評価	A	様々な行政課題に直面し、必要な予算を要求・編成する側の職員アンケート結果において、めざそう値を超えている指標もあることから、世代、性別などで不公平感のない予算編成は概ねできていると考える。 一方、市民側のアンケートでは、世代、性別での不公平感が一定程度あり、市民と職員で結果に乖離が見られる。より現場に近い予算編成調整が可能な部門別包括予算制度や、各段階における予算編成過程の公表は引き続き行っていく必要がある。また、社会情勢等の影響を鑑み、市民感情として俯瞰的になりにくいことでもたらされる予算の不公平感を和らげるような公表の方法や説明をしていく必要がある。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 24日

めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
大施策を構成する中施策	・ 税収を増やす等、収入を確保する ・ 持続可能な財政計画を立て、評価・改善する ・ 税金を効果的、効率的に使う		
主担当部長	行政経営部長（小串 真美）	主担当課	財政課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	行政が税金の使い方について説明責任を果たしていると思う市民の割合	%	22.3	36.3	36.2	40	35.4	47.6	○
2	財政力指数 ※	指数	0.89	0.91	0.9	0.88	0.87	0.91	▲
3	経常収支比率 ※	%	85.56	83.1	85.9	81.1	84.6	83.56	◎
4	実質公債費比率 ※	%	2.5	0.09	-0.37	-0.21	2.5	0.28	◎
5	将来負担比率 ※	%	-8.1	-29.6	-44.3	-55.8	-8.4	-24.3	◎
6									
7									

※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。

■総合評価

総合評価	A	まちづくり指標となっている各財務指標は概ね良好である。これにより財政調整基金は大規模災害を想定した目標額が維持できており、持続可能で健全な財政運営ができています。 主に税収確保のために進めている市内3か所の市街地開発（住居系、工業系）を着実に進めるとともに、今後も引き続き長期的な視点での基金管理や起債発行を行い、大きな予算を必要とする施設の長寿命化対策事業や大規模事業への負担金、災害への対応のための計画的な基金積立を行って、持続可能性を高めていく必要がある。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 20日

めざすまちの姿	25 市職員の顧客サービス向上の意識が高く、市民のほうを見て仕事をしている		
大施策	顧客サービス向上の意識を高め、市民本位の仕事をする		
大施策を構成する中施策	・ 市民に満足してもらおうという意識を高く持ち、サービスの向上を図る ・ 市民に有益な事業を実施する仕組みと組織体制を構築する		
主担当部長	行政経営部長（小串 真美）	主担当課	秘書広報課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	市職員の顧客サービスが高いと思う市民の割合	%	35.8	47.9	49.5	52.9	46.1	56.7	○
2	市職員の顧客サービスが高いと思う職員の割合	%	74.1	80.3	81.7	85.4	79.7	84.9	◎
3	ワンストップサービスができていると思う市民の割合	%	66.3	72.9	73.5	78.2	73.8	80.3	○
4	窓口対応についての市民の苦情件数	件	10	4	7	14	7	5	▲
5	市民からの要望・苦情に対して行政が改善を行っていると感じる市民の割合	%	35.5	48.1	48.5	52.6	47.5	59.4	○
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	まちづくり指標の結果を見ると、市職員の顧客サービス意識は順調に高まり、概ね計画どおりに進んでいるが、窓口対応についての市民の苦情件数は増加した。コロナ禍においても、開催方法を工夫して全職員向けに接遇研修を実施しているが、コロナ禍の影響や多様化、複雑化する市民ニーズへの対応は、これまで以上に市民に寄り添う意識が必要になっている。職員は自身の評価だけでなく、組織全体の評価を背負っている認識を持ち、市民の方を見て丁寧に仕事をする必要がある。 一方で、デジタル化による利便性向上への期待が高まり、アナログ対応だけでは顧客満足度の向上は望めなくなっている。マイナンバーカードの普及と行政手続きのデジタル化を進め、自治体DXを推進していく必要がある。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 3日

めざすまちの姿	26 市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい		
大施策	市民にとって必要な情報や行政の取り組みを市民に分かりやすく提供する		
大施策を構成する中施策	・ 市民にとって必要な情報を分かりやすく提供する ・ 市民が必要なときに見やすく手軽に行政の情報を受け取れるようにする		
主担当部長	行政経営部長（小串 真美）	主担当課	秘書広報課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	市のホームページが見やすいと思う市民の割合	%	31.5	42.3	41.9	46.1	44.5	57.9	○
2	窓口のレスポンスが的確だと思う市民の割合	%	51	61	67.5	69.9	62.1	71.5	○
3	市のホームページの情報が役に立ったと思う市民の割合 (R2年度追加)	%	0	57	56	57.9	0	63.9	○
4	行政が取り組んでいることが分かりやすいと思う市民の割合 (R2年度追加)	%	0	0	25.7	33	0	36.9	○
5	議会改革度調査の情報共有の順位 (R2年度追加)	位	0	402	318	337	0	225	○
6	議会の情報が十分に得られていると思う市民の割合 (R2年度追加)	%	0	0	24	28.3	0	34.8	○
7									

■総合評価

総合評価	B	行政からの情報発信の中心を担う広報紙とホームページは、それぞれ媒体の特徴を活かし、コロナ禍において正確な情報を提供することができた。特にワクチン接種に係る情報はニーズが高く、情報の正確さと鮮度が求められる中、市民の期待に応えることができた。 広報やホームページへの期待が高くなっている中、まちづくり指標は上がり、めざそう値に向けて達成傾向ではあるが、SNSも活用しながら、各媒体の特徴を活かし連携することで、さらに分かりやすく情報提供を進めていく必要がある。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 24日

めざすまちの姿	27 行政は明確な成果目標を持ち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している		
大施策	成果志向型の行政経営を実践する		
大施策を構成する中施策	・ P D C Aサイクルを確立する ・ 目標達成のために、職員の自己改革力を高め、連携・協力できる組織を形成する		
主担当部長	行政経営部長（小串 真美）	主担当課	企画政策課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	目標の達成度評価を重視して仕事をしている職員の割合 ※	%	61.7	81	85.6	82.8	71.4	84.8	○
2	事業改善、新規事業の提案数	件	94	127	64	64	124	160	▲
3	成果指標の年度別達成率	%	32	85.2	19.8	34.2	50	100	○
4									
5									
6									
7									

※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。

■総合評価

総合評価	B	新型コロナ感染拡大への対応のため、人的資源をワクチン接種業務等コロナ対応に振り分け、行政評価や業務提案を一部中止したり、業務の継続を優先したりした影響で指標の実績値が低くなった。また、中間見直しで目標値を上方修正した影響を受け達成率が低くなっている指標も見られる。そういった中でも、指標を測るまちづくりアンケートは継続し、規模を縮小しながらも評価を実施して総合計画マネジメントを進めることができた。 コロナの影響を受けた指標を分析し、アフターコロナ、ウィズコロナを前提としたプランを立案（既存事業の見直しや新規事業の検討など）して、新たなP D C Aサイクルを回していく必要がある。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 24日

めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
大施策を構成する中施策	・ 緊急時に対応できる体制を整える ・ 家庭や地域が子どもを大切に思い、支え合うことができるまちを醸成する ・ ゆとりを持って男女共に子育てを楽しむことができるよう応援する ・ 仕事と子育ての両立ができる環境をつくる ・ 男女の出会いの機会を創出する		
主担当部長	健康福祉部長（中村 泰正）	主担当課	子育て支援課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	子育てが楽しいと思っている市民の割合	%	84.5	83.4	76.3	90.2	88.8	92.3	○
2	0～14歳の子どもの数	人	9,749	8,732	8,659	8,548	10,011	10,445	▲
3	豊明市の出生率	人	8.1	7.1	7.6	7.7	8.8	10.1	▲
4	市内にある小児科、産婦人科の数 ※	施設	3	5	5	5	5	6	○
5									
6									
7									

※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。

■総合評価

総合評価	B	少子化の影響は、本市のみの課題ではないものの、子どもの人数は減少傾向にある。しかしながら、核家族化などにより子育てへの不安感もある中、子育てが楽しいと思っている市民の割合はめざそう値には届いていないが大きく伸びている。これは、妊娠期から切れ目のない子育て支援策を実施したこと、放課後の子供の居場所づくりの充実、親との同居近居への助成、共生交流プラザ「カラット」の整備など子育て世代を後押しする事業の成果であると考えている。また、大規模修繕による保育環境の向上だけでなく、民間活力を導入することで、先進的な保育環境の導入や定員拡大につながっている。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 20日

めざすまちの姿	29 子どもが元気に外で遊んでいる		
大施策	子どもが元気に外で遊べるまちをつくる		
大施策を構成する中施策	・子どもの健康な育みを支援する ・身近に安心して遊べる場所を整備する ・身近で共に遊べる仲間づくりを支援する ・子どもが外で遊ぶことへの理解を広める		
主担当部長	市民生活部長（宇佐見 恭裕）	主担当課	市民協働課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	自由に楽しく体を動かしていると思う子どもの割合	%	56.2	55.9	50.8	51.6	65.5	74.6	▲
2	子どもが外で元気に安全に遊べると感じている保護者の割合	%	35.1	43.3	44	45.9	46.4	57.9	○
3	子どもが元気に外で遊んでいると思う市民の割合	%	39	46.2	49.9	51.3	49.7	60.2	○
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	3つのまちづくり指標はコロナ禍の影響で低調だが、実績値は前年度より向上しており回復傾向である。保護者が心配されている子どもの交通事故や犯罪の防止につながるよう地域の防犯灯のLED化を促進し、公園リノベーション工事も継続して行いながら、危険個所の発見、修繕整備を迅速に行うため包括管理も進め、安心して遊べる環境整備を図ることができた。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 18日

めざすまちの姿	30 子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている		
大施策	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばす環境をつくる		
大施策を構成する中施策	・自分を好きでいられるようにする ・好きなことを学び、活動できる機会や場を増やす ・好きなことができるように周りの大人の理解を深め、支援できるようにする		
主担当部長	教育部長（藤井 和久）	主担当課	生涯学習課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	一人ひとりの個性や違いを受け入れていると思う市民の割合	%	84.4	87.3	87	88.5	87.5	90.3	○
2	子どもが参加できる教室やサークルの数	個	33	34	30	56	43	53	◎
3	積極的に自分の好きなことを見つけて取り組んでいる子どもの割合	%	84.9	86.2	84	86.3	88.1	90.9	○
4	子どもの行動に対して親の価値観でコントロールしていない親の割合	%	35.4	37.6	39.3	43.9	44.3	53.9	○
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	まちづくり指標は概ね順調に推移している。令和3年度に、中学校の制服を見直すことを決め、ブレザー制服導入の準備を進めた。寒い時期には女子でもスラックスを着ることができ、男女に関係なく自分に合った制服を選べるようになった。また男女混合名簿の導入も進めるなど、多様性を認め合い、尊重する社会の実現に向けて着実に進められた。子どもたちの放課後の居場所づくりについても、同一サービスを全地域で受けられるよう、準備を進めることができた。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 24日

めざすまちの姿	31 豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでいただけるまち」になっている		
大施策	とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす		
大施策を構成する中施策	・「行きたい」場所をつくる ・とよあけの魅力を発信する		
主担当部長	経済建設部長（伊藤 正弘）	主担当課	産業支援課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	メディアで紹介された市内のイベント、お店、施設の件数 ※	件	123	302	381	355	148	350	◎
2	市外から人を呼べるような場やイベントなどがあると思う市民の割合	%	21.2	20.3	15.6	14.2	31.1	40.1	▲
3	豊明インターを利用した自動車数	台／日	33,700	35,229	30,144	31,178	35,596	37,916	▲
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	年間を通じ市外からの来訪者がある国指定史跡桶狭間古戦場伝説地は、ガイドボランティアにより累計10万人を超える観光対応がなされている。本市の関連歴史資源を観光視点から再生し、来訪者の満足度向上と反響の拡散、誘客の拡大へつないでいくことで来訪者の増加と魅力の向上の好循環を形成する。特に来訪者によるSNS拡散を誘発するようなQRコードからの記念撮影素材等の導入などを試み、メディアや広報を通じ市民に向けても魅力発信を意識していく。ふるさと豊明応援寄附推進事業は返礼品に起因する影響が大きい。都市部としての課題克服に向けて、クラウドファンディングや企業版ふるさと納税含め積極的に取り組んでいく。全国への魅力発信の機会、遠隔地の不特定の消費者と市内事業者をつなぐ機会としても活用していく。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 11月 25日

めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
大施策を構成する中施策	・ 魅力ある職場づくりを促進する ・ 産業の活性化を図る		
主担当部長	経済建設部長（伊藤 正弘）	主担当課	産業支援課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	市外から豊明市に働きに来ている人の数 ※	人	3,593	5,307	4,714	3,288	3,949	5,838	▲
2	法人市民税額 ※※	千円	687,361	589,317	420,038	471,108	699,370	589,317	▲
3	農業産出量（米） ※	kg	553,770	980,440	766,956	1,038,352	560,375	830,000	◎
4	農業産出量（麦） ※	kg	14,093	106,096	120,181	114,786	17,092	90,000	◎
5	農業産出量（大豆）	kg	11,107	14,850	13,711	17,268	11,937	12,442	◎
6	市外から豊明市に遊びに来ている人が多いと思う市民の割合（子ども）	%	43	33.8	39.6	37.1	49.4	56.4	▲
7									

※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。
※※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。基準値はH31実績値となります。

■総合評価

総合評価	B	まちづくり指標の法人市民税額については、コロナ禍での事業者の事業持続化を支援する諸施策を実施し、感染予防対策への対処や影響を受ける事業活動の急増する需要に対応することで、回復傾向となっている。 農業分野においては、主要作物産出量は順調に推移している。また、域内経済活性化に資するブランド化は農業生産においては、ブランド野菜の定着化と安定供給体制の確立、さらには花マルシェプロジェクトの一層の認知拡大を図っていく。 企業庁により造成工事が着手されるに至った柿ノ木工業団地は、周辺環境と調和した工業団地を整備するため、地域の理解を得ながら事業活動が行われるよう働きかけていくことで、産業の活性化、雇用確保を図っていく。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 11月 25日

めざすまちの姿	33 高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている		
大施策	高齢者、障がい者の活躍の機会や場を増やし、収入と生きがいを得ることができる環境をつくる		
大施策を構成する中施策	・ 高齢者、障がい者の活躍の機会や場をつくる ・ 高齢者、障がい者が経験や知識を活かして働きやすい環境をつくる		
主担当部長	健康福祉部長（中村 泰正）	主担当課	長寿課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	自分の働き方に満足している高齢者の割合	%	87.7	89.1	61.8	82.4	90.2	92.6	▲
2	自分の働き方に満足している障がい者の割合	%	64.2	74.8	79	71.3	69.9	75.9	○
3	高齢者、障がい者を雇用している企業・事業所数	カ所	49	47	46	46	60	71	▲
4	働く意欲をもっている高齢者の割合	%	55.4	52.3	56	47.7	63	69.8	▲
5	働く意欲をもっている障がい者の割合	%	70.3	65.2	65.2	68.6	76.4	81.4	▲
6	自分の経験や知識を活かすことができていると思う高齢者割合	%	86.3	82.2	54.5	75.8	89.6	91.9	▲
7	自分の経験や知識を活かすことができていると思う障がい者の割合	%	63.5	70.9	66.7	74.8	68.5	73.3	◎

■総合評価

総合評価	B	コロナ禍の影響もあり、まちづくり指標は全体的に低調となっている。高齢者や障がい者をサービスの受け手としてだけでなく、地域の担い手として活躍できる場をつくり、経験や知識を活かしながら住み慣れた地域で生きがいをもって暮らしていける環境を作ることが重要である。 その中で、高齢者や障がい者の雇用機会も増え、業務内容も多様化するなか、グループホームも整備され、ボッチャ大会の開催など地域での自立生活や交流を図ることができる環境を整備しているため、引き続き関係機関と連携しながら、働き方など選択肢を増やしていく必要があると考えている。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 24日

めざすまちの姿	34 若い世代も地域で活動し、地域の自治力が高まっている		
大施策	若い世代が地域活動で活躍し、地域の自治力を高める		
大施策を構成する中施策	・ 若者が地域で活動しやすい環境をつくる ・ 若者が活躍できる機会や場をつくり、若者の主体的な活動を支援する ・ 若者が地域活動に興味をもつ環境をつくる ・ 世代を超えて連携し、地域の問題を自ら解決する環境をつくる		
主担当部長	市民生活部長（宇佐見 恭裕）	主担当課	市民協働課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	地域の活動に参加している若者の割合	%	67.8	54.8	50.8	56.8	73.7	79.4	▲
2	自分たちの考えが地域の活動に取り入れられていると思う若者の割合	%	11.1	16.1	15	15	22.2	34	○
3	若い世代の地域での活動を尊重し、応援している65歳以上の人の割合	%	57	60.7	56.3	58.7	65.8	73.2	○
4	町内会の加入率 ※※	%	78	72.5	72.2	74.7	83	72.5	◎
5									
6									
7									

※※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。基準値はH31実績値となります。

■総合評価

総合評価	B	地域の活動に参加している若者の割合が昨年度より少し向上したが、若い世代が地元の自治組織と関わる機会は少なく、地域の自治力の向上にはつながり難しい状況が続いている。一方で県立高校のイラストレーション部の学生の協力によって、行政課題の解決や街の活性化につながる事業を実施したり、医療系大学生の防災サポーター事業、保育系大学生のワークショップによる行政課題への提案、教育系大学生の協力による学習支援など多くの若者の知恵やアイデアを生かした事業も展開されている。例年行われている「成人式」においても新成人による実行委員会形式で企画運営しており、地域での活躍の機会があれば地域行事への参加も望めるため、地域活動の考え方を改め、活躍を経験した学生たちの力を地域で発揮してもらう機会の創出や支援が必要になる。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 20日

めざすまちの姿	35 若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている		
大施策	若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する		
大施策を構成する中施策	・若い人の豊明市に対する愛着や関心を深める ・若い人がまちづくりに関わる機会や場を増やす ・若い人が新しい感性を活かしてまちづくりに参加できるよう支援する		
主担当部長	市民生活部長（宇佐見 恭裕）	主担当課	市民協働課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	豊明が大好きな若者の割合	%	74	66.6	67.7	79.6	79.9	85.4	○
2	まちづくりに参加できていると感じている若者の割合	%	16.2	10.7	10.8	14.3	26.1	36.7	▲
3	市民提案型まちづくり事業交付金の交付団体数	団体	11	10	11	9	16	21	▲
4									
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	豊明が大好きな若者の割合は増加傾向の中、まちづくりに参加できていると感じている若者の割合は目標値に届いていない。まちづくりに若者の意見を生かすため、市長と3中学の生徒の意見交換会を毎年実施し、多くの意見や提案をいただいている。対応が可能な提案や長年の懸案事項で対応が難しい提案など様々だが、地域で暮らす若い人の視点からの意見や提案であり、早い段階での解決を進めている。提案事項が改善されることにより中学生にとって、本市への愛着や関心の深まりにつながっていくと考えられる。中学生以外においても意見交換会の実施やパブリックコメントへの意見を促す施策の実施、選挙の投票、豊明まつりへの参加など、まちづくりに関心を抱かせ若者の社会参加を促すことが重要になる。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 7月 26日

めざすまちの姿	36 女性が職場や地域で活躍し続けている		
大施策	女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる		
大施策を構成する中施策	・ 職場や地域において女性の活躍の場を増やす ・ 女性が社会で活躍する意識を向上させる ・ ワークライフバランスのための環境・制度を充実させる		
主担当部長	市民生活部長（宇佐見 恭裕）	主担当課	市民協働課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	職場で働きやすいと感じている女性の割合	%	35.4	50	46.2	40.2	45.4	56.7	○
2	育児休暇後に継続して働き続けている女性の割合	%	70.9	72.3	77.9	78.1	76.9	82.3	○
3	市内企業における女性管理職の割合	%	10.2	11.9	7.8	9.6	17.3	24.4	▲
4	町内会長・区長に占める女性の割合	%	6	16.1	10.3	11.1	12.7	18.8	○
5	男性の育児（介護）休暇取得者数	人	1	11	28	23	9	18	◎
6	男性一人あたりの平均1日家事時間	分	70.6	90.5	86.1	50	90.6	110.1	▲
7									

■総合評価

総合評価	B	家族の形態は多様化し、子育て世代を取り巻く環境は大きく変わり、それぞれの世帯が抱える課題も多様化・複雑化している。女性の社会参加や地域での活躍を推進するために、支援の必要な世帯を把握し、切れ目なく適切な専門機関につなげることで、子育ての不安や孤立を防ぐことができ、総合的な支援が可能になってきている。また、男女共同参画推進のため、講座や啓発事業を通して、社会が抱える様々な問題に触れることで女性活躍の場の広がりや機会を共有することができた。そして、男女がともに家庭・仕事・地域活動などのバランス良い暮らしの実現を目指して、子育て支援施設などの整備を続けている。引き続き、市民の多様なニーズに対応した子育て施策の充実が必要になる。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 3日

めざすまちの姿	37 子どもが夢を持ち、将来グローバル（グローバル＋ローカル）に活躍できる人材に育っている		
大施策	将来グローバルに活躍できる子どもを育てる		
大施策を構成する中施策	・異文化を理解し、言葉の壁を越えて主張できるようにする ・夢を実現するための支援をする ・夢を見つけるための環境をつくる		
主担当部長	教育部長（藤井 和久）	主担当課	学校教育課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	将来に夢をもっている子どもの割合	%	68.9	62.7	61.7	60.9	75.4	82.2	▲
2	自分の地域や国のことに誇りを持っている市民の割合	%	55.9	61.7	62.6	64.4	64.7	73.2	○
3	いろんな国のの人々とコミュニケーションをとろうとしている市民の割合	%	30.4	35.8	37.5	36.8	40.7	51.2	○
4	豊明市で育った人が活躍していると思う市民の割合	%	22.2	27.4	27	28.7	31.1	40.2	○
5									
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	まちづくり指標は低調であるが、概ね順調に推移している中で、「将来に夢をもっている子どもの割合」は悪化している。子供たちが毎日楽しく学校で過ごすことができる環境を維持していくことが、将来の希望や夢の実現に繋がっていくと考えている。二村台小学校で先行して実施した全学年少人数学級によるクラス編成については、多くのメリットがあり、全体としての学力の向上にもつながった。市内に住む日本語教育が必要な児童、生徒に対して、初期指導や初期支援がどの地域でも継続して実施していけるよう、日本語指導専門員を新たに配置し、全市的に同一サービスが受けられるような、体制の整備を進めることができた。また、経済的な理由により大学等への進学を断念することがないよう、入学支援金の貸し付け事業を継続して実施することができた。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】
◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
○:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】
A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 18日

めざすまちの姿	38 すべての子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上している		
大施策	子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上する環境をつくる		
大施策を構成する中施策	・自ら学ぶ意欲を高める ・学校で質の高い教育を受けられる環境を充実させる ・学力だけでなく社会性や行動力のある子どもを育成する ・親への支援を充実する		
主担当部長	教育部長（藤井 和久）	主担当課	学校教育課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	学校で学ぶことが楽しいと思う子どもの割合	%	66.6	72.1	67.2	68.9	74.1	81.7	○
2	悪いことを正されたり、いいところを褒められたりして自分の行動が変わったと感じる子どもの割合	%	76.6	82.9	81.3	79.8	81.4	86.2	○
3	学習と日常生活につながりを感じている子どもの割合	%	77.1	77.1	77.2	79.5	81.6	86.1	○
4	授業から置いてけぼりになっていない子どもの割合	%	57.4	63.2	55.3	57	66.6	75.1	▲
5	前よりも勉強や運動ができるようになったと思う子どもの割合	%	79.7	82.9	81.4	80.1	84.2	88.3	○
6	学校生活に満足している子どもの割合	%	53	54.5	54.5	55	63.8	72.7	○
7									

■総合評価

総合評価	B	子どもたちの学力向上については、少人数学級の先行的な導入やICT環境の充実、全小中学校で実施している協同の学び推進事業、教員補助や教育支援員の配置など、厳しい財政状況下にあっても、すべての子どもたちが質の高い教育を受けられるように誠意尽力しているものの、まちづくり指標の結果には表れていない。 効果が即座に出にくいということもあるが、子どもたちが自ら学ぶ意欲を高め、将来を担う人材として育てていただけるよう教育環境全般において、さらなる充実に努めていきたい。
------	---	---

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 11月 21日

めざすまちの姿	39 若い人たちが地元で働ける		
大施策	若い人たちの地元での就労を促進する		
大施策を構成する中施策	・若い人たちの働く意欲・能力を高める ・若い人たちが働きやすい労働環境づくりを支援する ・若い人たちと企業をつなぐ仕組みをつくる		
主担当部長	経済建設部長（伊藤 正弘）	主担当課	産業支援課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	有効求人倍率	倍	1.16	1.68	1.09	1.28	1.34	1.44	○
2	市内在住者の市内就業者数	人	1,529	1,098	1,400	1,742	1,775	2,014	○
3	新規起業数（50代以下）	人	80	38	46	37	100	124	▲
4	市内で働くための情報が得やすいと思っている若者の割合（50代以下）	%	7.8	15.3	18.1	16.1	19.3	30.8	○
5	市内在住者で市内で働きたいと思っている若者の割合	%	48.3	46.5	52.6	54.6	55.8	62.8	○
6									
7									

■総合評価

総合評価	B	就職フェアを開催することで雇用者と就労希望者との接点を創出、提供できている。愛知労働局と市との雇用対策協定を締結することができたことから協調関係の中で一層の総合的な対策を推進していく。完全失業率は、コロナ禍の影響を踏まえて直近では回復の基調にある。 創業支援セミナーは、コロナ禍で参加は抑制的ではあるものの様々な情報や機会が存在することもあり、継続的な支援をしていく。また、柿ノ木工業団地の整備や企業誘致にも努め就労機会の拡大を図っていく。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。

大施策評価書

作成日 令和 4年 10月 24日

めざすまちの姿	40 市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている		
大施策	まちを良くしていくために情報を収集し、失敗を恐れずチャレンジする		
大施策を構成する中施策	・ 常に情報を収集し、学ぶ環境をつくる ・ 失敗を恐れずチャレンジできる人材を増やす ・ チャレンジしやすい環境をつくる		
主担当部長	行政経営部長（小串 真美）	主担当課	秘書広報課

■まちづくり指標の実績

	まちづくり指標名	単位	実績値の推移				めざそう値		めざそう値 (R7)に対する達成度
			H26	H31	R2	R3	R2	R7	
1	先を見据えた仕事ができている職員の割合 ※	%	49.4	72.9	77.3	80.9	60.7	83	○
2	他団体からの視察を受け入れた回数 ※	回	28	134	39	216	37	134	◎
3	議員の政策立案能力が高まっていると思う市民の割合	%	11	25.3	24.9	28.4	24.3	37.5	○
4	市長・市職員の政策立案能力が高まっていると思う市民の割合	%	21.9	43.6	39.4	40	34.5	47.8	○
5									
6									
7									

※ 中間見直し(令和2年度)により、めざそう値(R7)を修正しています。

■総合評価

総合評価	B	まちづくり指標は概ね達成に近づいている。新型コロナウイルス感染拡大の影響で果敢にチャレンジしていく状況ではない中でも、本市がチャレンジしている事業の内容や手法について、人数をコントロールしながら全国的にも多くの視察を受入れることができた。 一方で、政策立案能力に係る指標の達成度は低調なため、市民への周知不足も要因があると考えられる。今後は、正当な評価を得るための行動もしながら、引き続き民間など多様な主体と連携した事業を進めるとともに、DXを先を見据えた抜本的な業務の見直しが求められる中で、外からの知識を吸収するためにも、政策課題研修や視察研修を充実したり、職員が望む研修に参加しやすしたりするなど、研究環境を整備していく必要がある。
------	---	--

【めざそう値(R7)に対する達成度】

- ◎:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成している。
- :実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成していないが、達成傾向である。
- ▲:実績値(R3)が、めざそう値(R7)を達成しておらず、基準値(H26)よりも下回っている。

【総合評価】

- A:めざすまちの姿実現に向けて計画通り進行している。計画よりも進んでいる。
- B:めざすまちの姿実現に向けておおむね計画どおり進行している。
- C:めざすまちの姿実現に向けて計画より進行が遅れている。
- D:めざすまちの姿実現に向けて計画の見直しが必要である。